

NITS オンライン動画視聴後の「振り返りシート」 <校内研修シリーズ>

【No126:総合的な学習の時間とカリキュラム・マネジメント】

Step.1 解答例

- (1) 今次学習指導要領が育成を目指している資質・能力は、これまで総合的な学習の時間が育んできたものであり、改訂作業の過程で検討された社会的諸課題とこれまで総合的な学習の時間において多くの学校が取り組んできた課題との関連が強い。
- (2) 総合的な学習の時間においては、調べたり、理解したり、分析したり、まとめたり、発信したりする際に言語活動が必然的に行われる。そのことにより、学習の基盤の一つである言語能力が定着し、各教科等の学習においても好影響を与えている。
- (3) カリキュラム・マネジメントの3側面（教科等横断的な視点での教育課程編成、PDCAサイクルの確立、校内外の人的・物的の活用）は、これまで総合的な学習の時間の実践において取り組まれてきたことに他ならない。